

実践記録（小6・総合的な学習の時間）

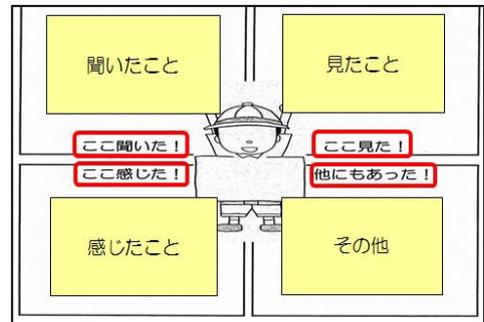
1 ねらい

情報の交流を行い、足りない情報を補うことから根拠となる情報の質を高め、自分の考えを深めることができるようにする。

2 手立て

以下の手順で、足りない情報を「情報深化カード」に補うようにさせる。

- (1) 自分が集めた情報を、「ここ見た!」「ここ聞いた!」「ここ感じた!」「他にもあった!」の4観点に分類し、足りない情報があることに気付かせる。
- (2) 同じ場所について調べた友達とグループを作り、足りない情報を友達の情報から探すようにする。
- (3) グループの友達が情報をもっていない場合は、パンフレットなどを参考にして、新たに情報を加えるようにする。



【情報深化カード】

3 実践の様子

事前に、これまでに自分が調べた情報や、見学や体験から得た情報などを書いた付箋紙を、「情報深化カード」の4観点で分類させた。すると、児童は観点によって不足している情報があると気付くことができた。

本時では、同じ場所を調べた友達とグループを作り、情報の交流を行った。足りない情報を補うことで情報を蓄積し、そこから根拠となる情報を整理することで、自分の考えを深められるようにした。ある児童は、見学で感じた大仏の迫力を伝える情報が必要だと考え、大仏の座高やつくりに関する情報を交流していた。「創建時の大仏の座高はどれくらいだっけ。」「創建時は15.8mだったけど、今は14.98mになってるよ」「手の形には意味があったよね。」「両手で思いやりの心を表しているんじゃないかな。」など、グループでの交流を通して、互いに自分の足りない情報を補い、蓄積していった。しかし、誰ももっていない情報をパンフレットなどから加えようとする、調べることに時間がかかり、交流が滞るグループもあった。



【情報の交流をしている様子】

学習の振り返りでは、「自分も持っている情報を友達に伝えることで自信がもてたり、より自分の考えを高めたりすることができました。」という記述が見られ、自分ももっていた情報が友達の役に立ってたことや、情報の交流を通して自分の考えが深まったことを実感していた。

友達と情報交換をすると大仏の高さが14.98mというのを知った。
自分ももっている情報を友達に伝えることで自信がもてたりより
自分の考えを高めたりすることができました。

【自分の考えを高めることができたと感じている児童の記述】

5 成果と課題

- 必要な情報が蓄積されたことで、根拠となる情報を整理して考えることができ、自分の考えを深めることができた。
- 情報の交流を通して、自分のもつ情報が友達の役に立つ情報だと気づき、自分の情報に自信をもつことができた。
- パンフレットなどから足りない情報を加えようとする、情報の交流が滞るグループがあった。足りない情報は後日調べるようにすると、本時での交流をスムーズに行うことができたと思う。